

自民党内でいわゆるの総審議時間の116
「60日ルール」を使い、時間比べ、6割にも
戦争法案成立を強行す
る動きが浮上しまし
た。

参院自民党は、「60日
ルール」の適用が可能
となる9月14日の週に
衆院が可決し参院に送
られた法案を60日以内
に採決しなければ「否
決」したとみなし、衆
院で再議決（憲法59条
4項）するものです。
自民党幹部の一人は
「参院がこれ以上もた
もたするなら、法案を
取り上げ衆院でやるし
かない」と述べます。

7月28日に参院安保
法制特別委員会で審議
入りした戦争法案の総
審議は8月28日時点で
63時間です。衆院段階
の一人はこぼします。

自民、法案審議に焦り

衆院再議決をさぐる

「95日間という」
史上最長の会期延長を
はじめ、これだけのこ
とをして法案が通らな
ければ、首相のリーダ
ーシップが問われ、普
通なら退陣になる。参
院の自民は、来年の選
挙を恐れ自分の手を汚
したくない。参院の審
議を無視して衆院で強
行するのは、参院の否
定、審議の否定にな
る。（戦争法案という）
問題が問題だけに敵し
らに衆院の強行採決
ない。政権がつぶれる
かもしれない」と危機
感を表明します。「再
議決」の動きには、参
院自民党からも反発の
声が漏れます。

7月15日の特別委、
16日の本会議）に対し
国民の怒りが爆発して
内閣支持率は急落。与
党も「丁寧な質疑」を
余儀なくされました。
9月8日告示の自民
党総裁選をめぐっても
戦争法案審議との関係
で緊張が走ります。
自民議員の一人は
「もし安倍首相に対抗
馬が出れば、地方遊説
などで国会を止めなけ
ればならず、法案審議
と両立しない。官邸は
無投票当選にするため
必死だ」と述べます。
他方「対抗馬が出なけ
れば自民党の底の浅さ
が批判される」という
声も（同党議員）出さ
れます。

8/31
五五

30日の国会包囲は12
万人、全国では100
0万力以上の取り組み
が空前の規模で成功。
安倍政権は包囲されま
した。
「若い母親の反対の
広がりには特に慎重に対
策しなければならな
い。確かに不安が広が
っている」
前出の自民党幹部の
一人はこう述べ、無党
派市民層の自然な感性
からの批判の広がりに
恐れを隠しません。
参院での強行か、衆
院での再議決か。それ
とも廃案か。空前の
国民的たたかいは深く
安倍政権を追い詰めて
います。（中相寅一）